

# Red Hat Enterprise Linux： クラウドに最適なオペレー ティングシステム



## クラウドプロバイダーを自由に 選択

Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux がクラウドで適切に動作するよう、すべての主要なクラウドプロバイダーに加えて、その他多数のグローバルプロバイダーや地域のプロバイダーと連携しています。

当社の戦略的クラウドパートナーシップの詳細をご覧ください。

- ▶ [Amazon Web Services \(AWS\)](#)
- ▶ [Microsoft Azure](#)
- ▶ [Google Cloud](#)
- ▶ [IBM Cloud](#)
- ▶ [Alibaba Cloud](#)

組織に適した認定クラウドプロバイダーを見つけるにはこちら：  
[catalog.redhat.com/cloud](https://catalog.redhat.com/cloud)

## クラウドへの移行を成功させるには一貫性が必要

クラウドの採用は当たり前のこととなり、今や 89% の組織がマルチクラウド戦略を導入しています。<sup>1</sup> とは言え、IT ランドスケープにクラウド環境を 1 つでも追加すると複雑性が高まります。データセンターとクラウド環境間で一貫性のあるオペレーティングシステムを使用して標準化することで、複雑さを克服し、クラウドへの移行を単純化することができます。

Red Hat® Enterprise Linux® には、クラウド上で信頼性の高い、セキュリティに重点を置いたパフォーマンスを確保するためのさまざまな最適化手段が含まれています。Red Hat Enterprise Linux は、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境に一貫した運用基盤を提供するため、アプリケーションを最適な場所で実行できます。

## 統合された基盤上でエンタープライズの安定性とクラウドの最適化を活用

[Red Hat Enterprise Linux](#) は、エンタープライズ向けの信頼性と機能を継続的に提供し、さらに新機能を追加し、最適化を行ってクラウドへの投資を最大限に活用できるようにします。これらの最適化はクラウド、ソフトウェア、ハードウェアのパートナーと緊密に連携して行われ、すべての認定コンポーネントで信頼性の高い動作を確保しながら独自のクラウド機能を活用できます。フットプリント全体で一貫したエクスペリエンスが実現されるため、Red Hat Enterprise Linux のデプロイ先に関係なく、どこでも同じ方法でアプリケーションを実行し、環境を管理できます。組織全体を Red Hat Enterprise Linux で標準化すると、クラウドへの移行が単純化され、場所を問わずにビジネスイノベーションをサポートできます。

## クラウド利用をより迅速に開始する

Red Hat Enterprise Linux 用に開発されたアプリケーションは、基盤のインフラストラクチャに関係なく同じように動作するため、既存のワークロードを変更することなく迅速にクラウドへと移行できます。IT チームと開発チームは、大規模な再トレーニングや修正を行うことなく、現在のスキル、プロセス、ツールを引き続き使用できます。また、Red Hat は複数の購入オプションを提供しており、組織の調達プロセスに合わせて選択することができます。既存のサブスクリプションを使用したり、Red Hat やクラウドプロバイダーからサブスクリプションとインスタンスを購入したりすることが可能で、さらにはクラウドプロバイダーの確約利用料プログラムや割引を適用することもできます。その結果、リスクを低減し、コストを削減し、クラウドをより迅速に開始することができます。

## ハイブリッド環境全体の管理を効率化

Red Hat Enterprise Linux で標準化すると、[Red Hat Insights](#)、[Red Hat Smart Management](#)、[Red Hat Ansible® Automation Platform](#) などの同じ管理ツール一式を使用して、すべての環境の管理と自動化を行えるため、時間と労力を節約できます。Red Hat サブスクリプションには Red Hat Insights が含まれています。これは、ハイブリッドクラウド環境の管理と最適化を支援するマネージドサービスです。



## 組織に合った購入オプション

Red Hat は複数の購入オプションを提供しており、組織の調達プロセスに合わせて選択することができます。

- ▶ Red Hat から直接サブスクリプションを購入し、オンサイトまたはクラウドで使用
- ▶ Red Hat Enterprise Linux インスタンスを、クラウドプロバイダーのコンソールから直接入手
- ▶ クラウドプロバイダーの確約利用料の資金と Red Hat Enterprise Linux インスタンスの割引を利用
- ▶ Red Hat Hybrid Committed Spend プログラムの資金と割引をクラウドプロバイダーのサブスクリプションとインスタンスに使用

これらのオプションについて、詳しくは[概要をご覧ください](#)。

Red Hat Insights は予測分析と詳細なドメイン知識を使用して、セキュリティおよびパフォーマンスのリスクの特定、ライセンスの追跡、コストの管理などの運用タスクを効率化します。このツールは、オンサイト環境とクラウド環境で機能するため、単一のインタフェースからすべてを管理できます。

## クラウドでのセキュリティとコンプライアンスを維持

Red Hat Enterprise Linux によって環境全体の一貫性が向上するため、セキュリティとコンプライアンスをよりシンプルに維持することができます。組み込み型のセキュリティ機能、業界および政府規制へのコンプライアンス遵守、モジュール式のパッケージ構造によって攻撃対象領域が減少し、クラウド内のシステムが保護されます。Red Hat Insights を使用すると、システムをスキャンして共通脆弱性識別子 (CVE) や[クラウドプロバイダーが特定した問題](#)を検出し、スキャン情報を収集し、単一のインタフェースを使用して修復ガイダンスにアクセスできます。そして、ベストプラクティスに基づいた初期設定により、最初からクラウドでのセキュリティが強化されたシステムを構成することができます。

## クラウドにおける柔軟性と選択肢を獲得

Red Hat Enterprise Linux は一貫性とワークロードの可搬性を備えており、常にアプリケーションやビジネスに適したクラウドを選択できます。[140 以上の認定クラウドプロバイダー](#)の中から選択してアプリケーションをデプロイして実行し、さまざまなクラウドサービスを利用したり、コストを最適化したり、回復力や障害復旧シナリオに合わせてシステムを構成したりすることができます。付属の[イメージビルダーツール](#)を使用すると、カスタマイズされた Red Hat Enterprise Linux イメージを作成し、テンプレートとして保存して、複数のクラウドプロバイダーのインベントリにプッシュでき、クラウド全体でのデプロイメントが容易になります。

必要であれば、ワークロードを自社データセンターに戻すこともできます。迅速に実行でき、変更も不要です。多くのクラウドプロバイダーは、アプリケーションやデータをクラウドに移動するためのツールやプラットフォームは提供しますが、リソースを組織のデータセンターに戻す場合の支援は提供しません。Red Hat Enterprise Linux は可搬性をもたらす基盤を提供するため、ワークロードとデータを常に最適な場所に配置できます。

## さらに詳しく

Red Hat Enterprise Linux は、実証済みの安定性とクラウドの最適化を併せ持ち、クラウドへのより効率的かつ効果的な移行を支援します。詳細は [red.ht/rhel-for-hybrid-cloud](https://red.ht/rhel-for-hybrid-cloud) をご覧ください。



## Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001803 440 224	マレーシア 1800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan  
twitter.com/RedHatJapan  
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com  
F159850\_1122\_KVM